
(参考 1)

神奈川県内広域水道企業団の概要

(1) 神奈川県内広域水道企業団とは

- 用水供給事業（昭和44年設立）
- 設立の目的
 - ・ 水道用水の広域的有効利用を図る
⇒ **水源開発で得た水を県東部の広い地域で利用**
 - ・ 重複投資を避ける
⇒ **構成団体が各自で水源開発をするムダを無くす**
 - ・ 効率的な施設の配置及び管理を図る
⇒ **県内に点在する施設を一元的に管理することでムダを無くす**
 - ・ 国の補助金の導入を図る
⇒ **皆様が水道局に支払う水道料金を低く抑える**



受水者	1日最大給水量
神奈川県	987,900 m ³
横浜市	1,026,800 m ³
川崎市	505,600 m ³
横須賀市	132,100 m ³
計	2,652,400 m ³

（2）建設事業の概要

2つの建設事業を実施、2水系一体運用による安定供給体制を確立

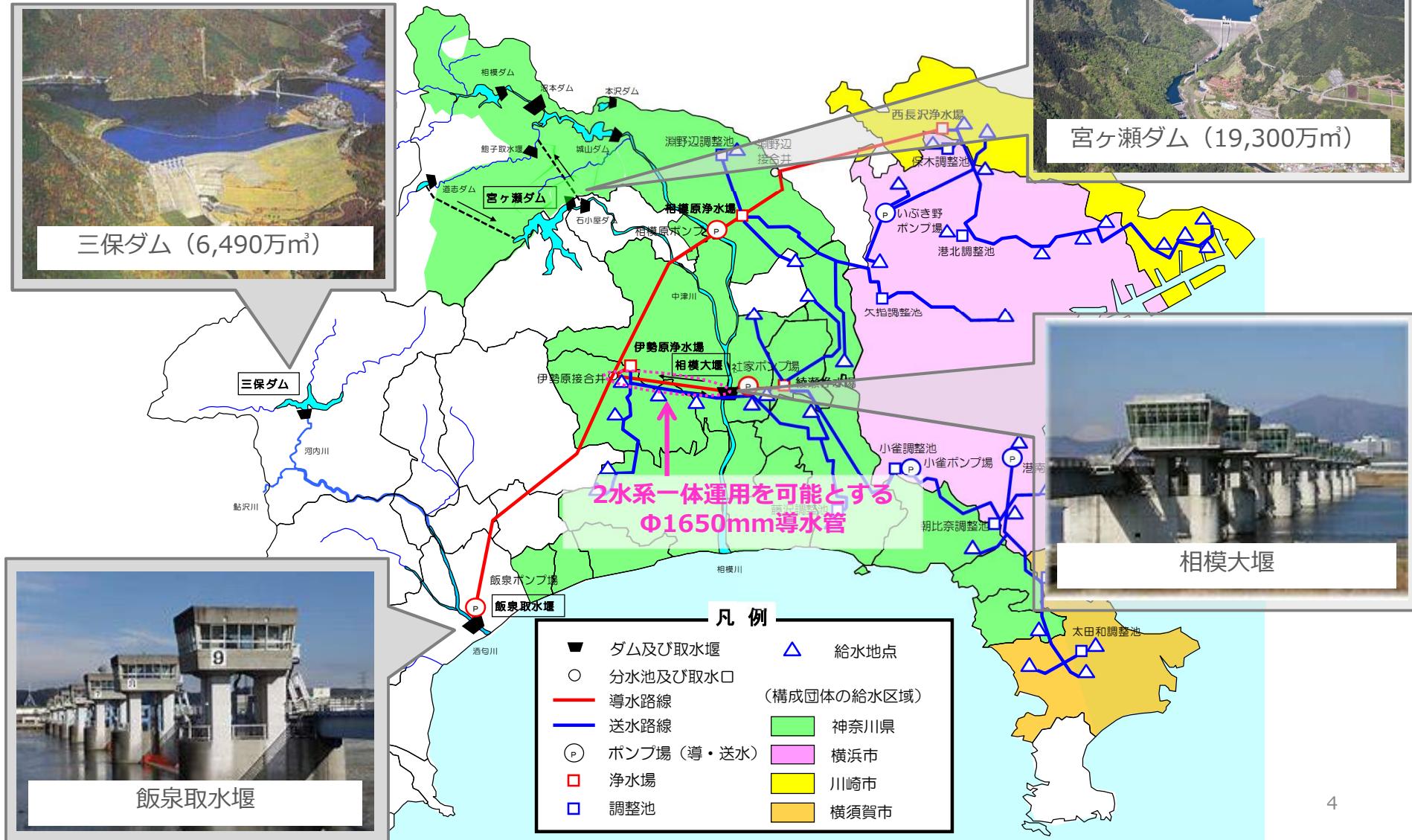
創設事業

事業年度	昭和44～53年度
主な施設	三保ダム、飯泉取水堰、伊勢原浄水場、相模原浄水場、西長沢浄水場
1日最大給水量	1,454,800 m ³
総事業費	約2,890 億円

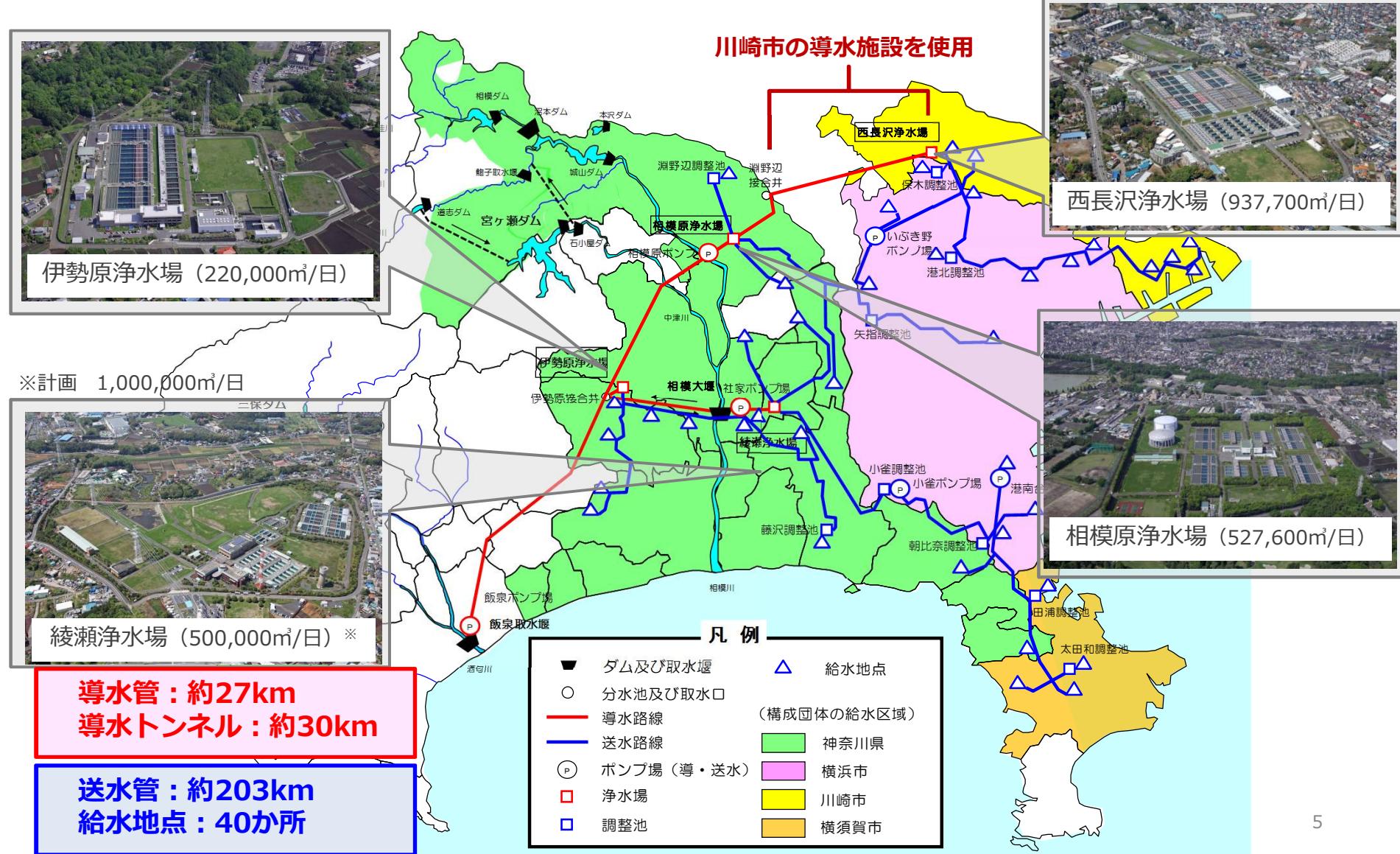
相模川水系建設事業（第1期）

事業年度	昭和55～平成19年度
主な施設	宮ヶ瀬ダム、相模大堰、綾瀬浄水場、相模原浄水場（増強）
1日最大給水量	577,500 m ³
総事業費	約7,330 億円

(3) 施設の概要 —貯水施設・取水施設—

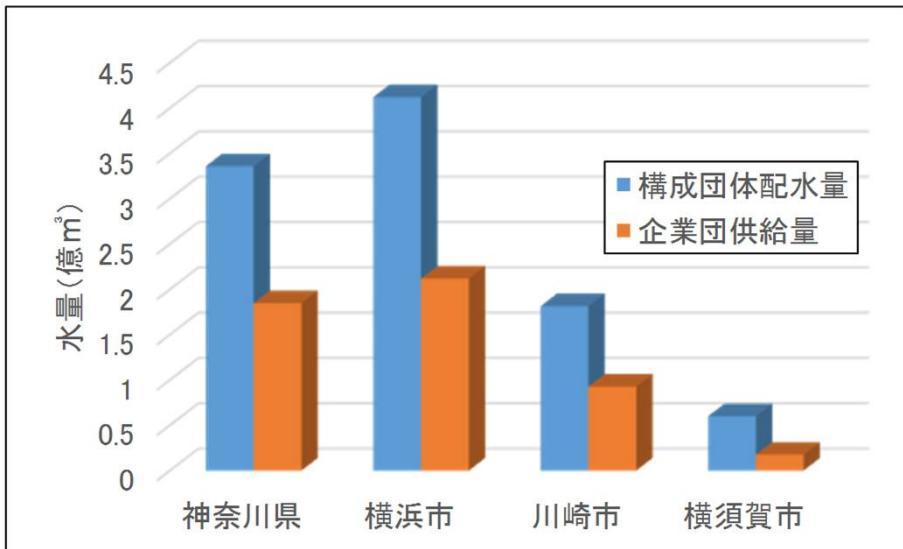


(3) 施設の概要 — 導水施設・浄水施設・送水施設（直営事業）—

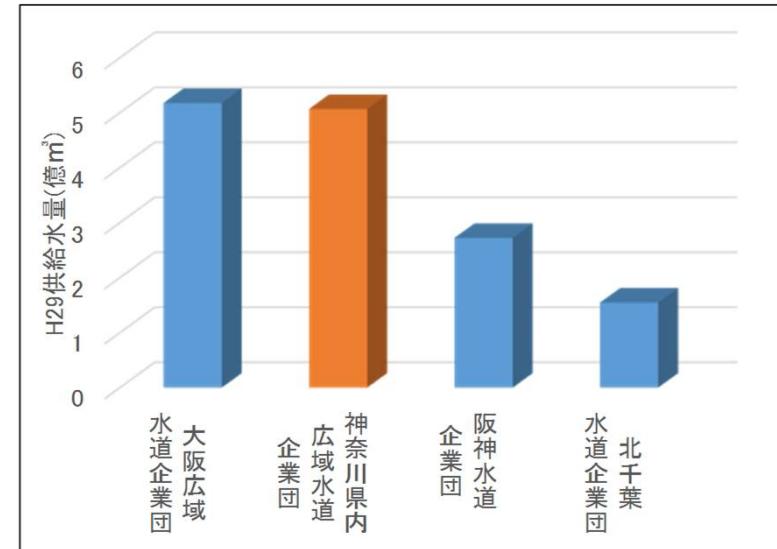


(4) 供給実績①

構成団体の年間配水量と企業団の供給量（平成29年度）



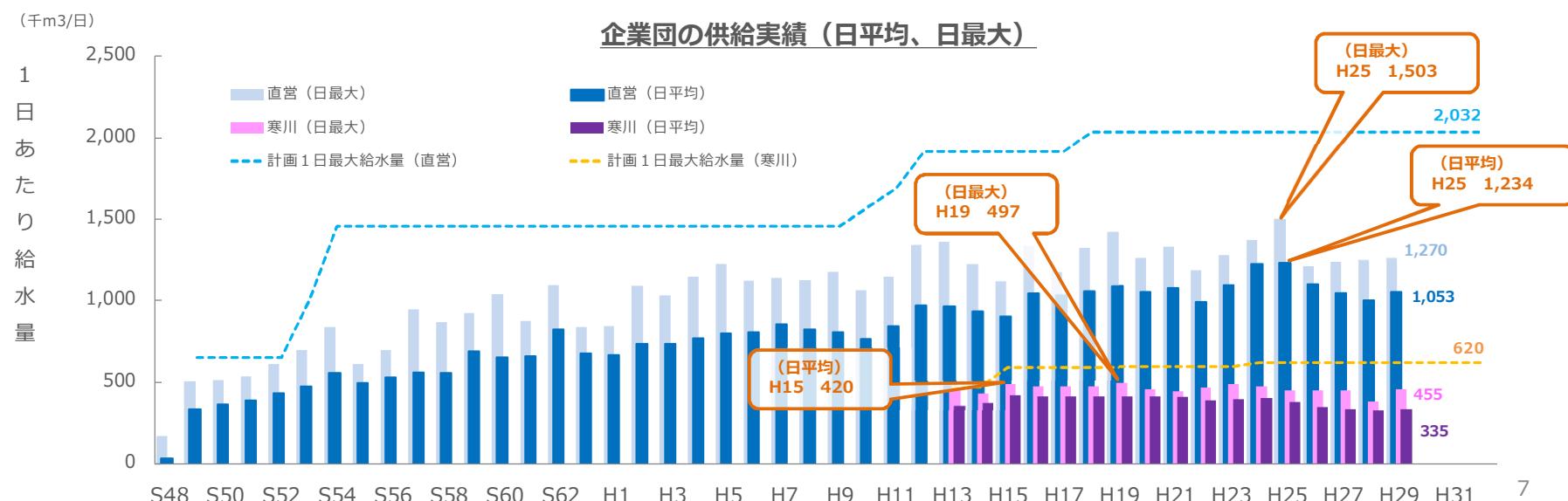
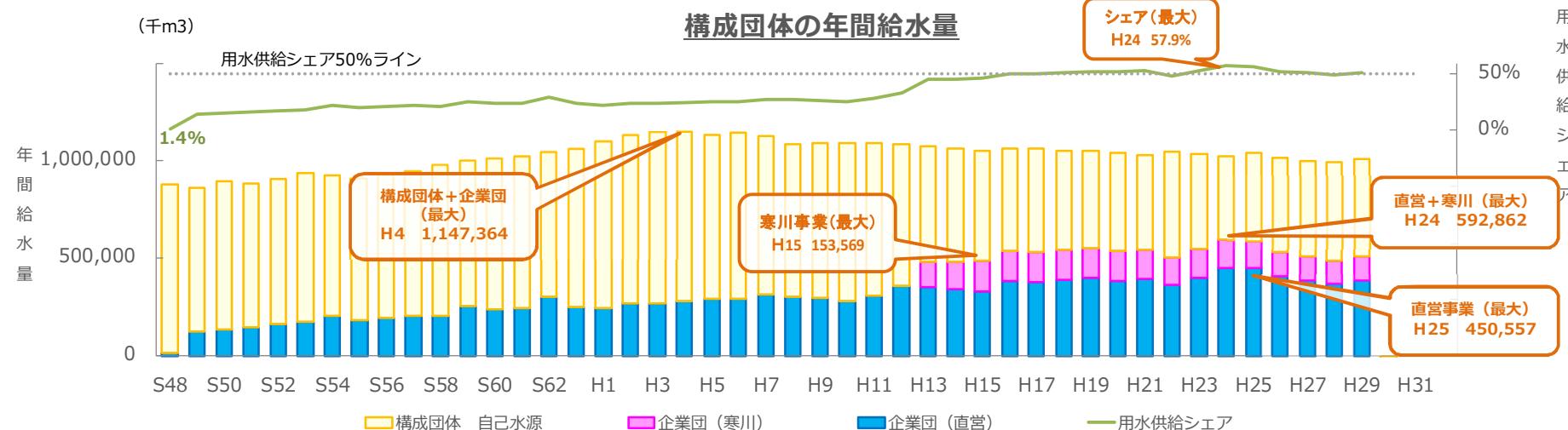
全国の主な水道用水供給事業体の供給量（平成29年度）



項目	平成29年度
年間給水量 A	506,694,850 m ³
給水量（日平均）	1,388,205 m ³
給水量（日最大）	1,685,950 m ³
構成団体 総配水量 B	989,143,894 m ³
比率 A/B	51.2 %

- 構成団体の水量の約50%を供給
- 全国有数の用水供給事業規模
- バックアップの役割もあるため、日々の需要変動への対応が必要
- 施設利用率が低い要因のひとつ

(4) 供給実績②



（6）収入・支出

収益的収支と資本的収支を合計した予算規模は 約 700 億円

平成31年度当初予算

(単位：億円)

